

「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第 2 次）」の  
レビュー報告書の作成方針について（案）

1. 目的

観測研究の更なる進展と次期の災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画の策定を視野に、総括的自己点検評価を行うことを目的に、レビュー報告書を作成する。

2. 報告書名

報告書名を「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第 2 次）の実施状況等のレビュー報告書」とする。

3. 取りまとめの対象期間

平成 28 年 6 月～令和 3 年 6 月とする。

4. 取りまとめ方法

レビュー取りまとめ委員（大湊臨時委員及び関口臨時委員）を中心に、地震・火山噴火予知研究協議会及び関係機関の協力を得て作成する。

5. 今後の作業スケジュールについて

- 令和 3 年 7 月 16 日 地震火山観測研究計画部会（第 40 回）  
「レビュー報告書の作成方針について」取りまとめ  
令和 2 年度年次報告（機関別）の取りまとめ
- 令和 3 年 9 月上旬 地震火山観測研究計画部会（第 41 回）  
令和 2 年度年次報告（成果の概要）の取りまとめ  
令和 3 年度年次報告（機関別）の取りまとめスケジュールについて審議
- 令和 3 年 9 月下旬 地震火山観測研究計画部会（第 42 回）  
レビュー報告書（初稿）について意見交換  
レビュー報告書 参考資料（案）について意見交換
- 令和 3 年 11 月～令和 4 年 1 月 地震火山観測研究計画部会（第 43・44 回）  
レビュー報告書に係る意見交換

- 令和4年1月～2月 測地学分科会（第45回）・地震火山観測研究計画部会（第45回）合同会  
レビュー報告書の取りまとめ

## 6. 検討内容

- 【近年発生した地震および火山現象\*に関する重要な観測研究】の章を設け、近年発生した地震や火山噴火現象に関する重要な観測研究成果について取りまとめる。
- 【災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）の実施状況と今後への課題】の章を設け、本計画（建議）の項目毎に明記された実施すべき内容を参照し、「実施状況」「成果」を報告し、「今後の展望」を記述する。
- 【総括的評価】の章を設け、本計画における研究の進捗状況を総合的及び項目別に評価し、次期計画の策定における資料とする。また、計画推進のための体制整備についても評価し、問題点等について整理する。
- 【地震火山観測研究計画の変更について】の章は、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画の実施状況等のレビュー報告書」においては設けていたが、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）の実施状況等のレビュー報告書」では設けない。

### \*近年発生した地震及び火山噴火の事例（案）

- 主な地震
  - 1) 平成28年（2016年）4月16日 熊本地震（M7.3）
  - 2) 平成30年（2018年）6月18日 大阪府北部の地震（M6.1）
  - 3) 平成30年（2018年）9月6日 北海道胆振東部地震（M6.7）
  - 4) 令和元年（2019年）6月18日 山形県沖の地震（M6.7）
  - 5) 令和3年（2021年）2月13日 福島県沖の地震（M7.3）
  - 6) 令和3年（2021年）3月20日 宮城県沖の地震（M6.9）
- 主な火山噴火
  - 1) 草津白根山（本白根山）
  - 2) 霧島山（新燃岳・硫黄山）
  - 3) 西之島
  - 4) 桜島

## 7. 作成方針

- 本計画では、災害誘因の予測に基づき災害の軽減に貢献することを最終的な目標と位置付けている。災害の根本原因である地震や火山噴火の発生とそれらが引き起こす災害誘因を共に予測する研究や、地震・火山噴火災害に関する社会の共通理解醸成による防災リテラシー向上のための研究が、災害の軽減につなげるために進められているかという観点で作成する。
  
- 本計画では、地震発生・火山噴火の予測を目指す研究を継続しつつも、地震や火山噴火が引き起こす災害を知り、研究成果を地震、津波及び火山噴火による災害の軽減につなげるという前計画の方向性を継承した。そのため、引き続き地震学や火山学を中核とし、災害や防災に関連する理学、工学、人文・社会科学などの分野の研究者が参加し、協働して計画を推進している。この方向性について、分野横断的な協働による効果、及び問題点等を取りまとめる。

## 8. その他の項目

- 補足資料として、[用語集]、及び[概要、要旨、付属資料]を取りまとめる。
  
- 参考資料として、予算、定員、観測点、論文数及びリスト、国際共同研究等の調査を行い報告する。また、アウトリーチ活動についても参考資料として報告する。

これまでのレビューでとりあげられた、「近年発生した地震及び火山噴火の観測研究成果」

平成 14 年

地震予知のための新たな観測研究計画の実施状況等のレビュー

- ・ 1999 年トルコ・イズミット地震 (Ms7.4)
- ・ 1999 年台湾・集集地震 (Ms7.7)
- ・ 2000 年鳥取県西部地震 (M7.3)

第 6 次火山噴火予知計画の実施状況等のレビュー

- ・ 有珠山
- ・ 岩手山
- ・ 三宅島
- ・ 桜島
- ・ その他の火山

平成 19 年

地震予知のための新たな観測研究計画（第 2 次）の実施状況等のレビュー

- ・ プレート境界の地震  
(2003 年十勝沖地震、2005 年宮城県沖の地震)
- ・ 内陸の地震  
(2004 年新潟県中越地震、2005 年福岡県西方沖の地震)

第 7 次火山噴火予知計画の実施状況等のレビュー

- ・ 浅間山
- ・ 三宅島
- ・ 阿蘇山
- ・ 桜島
- ・ その他の火山

平成 24 年

地震および火山噴火予知のための観測研究計画の実施状況等のレビュー

1. 主な地震

- ・ 2007 年能登半島沖地震 (M6.9)
- ・ 2007 年新潟県中越沖地震 (M6.8)
- ・ 2008 年中国四川地震 (Mw7.9)
- ・ 2008 年岩手・宮城内陸地震 (M7.2)

- ・ 2009 年駿河湾の地震 (M6.5)
2. 主な火山噴火
    - ・ 桜島
    - ・ 霧島山 (新燃岳)

## 平成 29 年

災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画の実施状況等のレビュー

1. 主な地震
  - ・ 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震とそれに関連する地殻活動
  - ・ 2013 年 4 月 13 日 淡路島付近の地震 (M6.3)
  - ・ 南米の海溝型巨大地震
  - ・ 2014 年 11 月 22 日 長野県北部の地震 (M6.7)
  - ・ 2015 年 4 月 25 日 ネパールの地震 (Mw7.8)
  - ・ 2015 年 5 月 30 日 小笠原諸島西方沖の地震 (M8.1)
  - ・ 平成 28 年 (2016 年) 熊本地震
2. 主な火山噴火
  - ・ 御嶽山
  - ・ 口永良部島
  - ・ 箱根山
  - ・ 西之島
  - ・ 阿蘇山
  - ・ 桜島
  - ・ シナブン山